

家庭クラブ通信

2月号



発行/愛媛県立川之江高等学校家庭クラブ

① ペットボトルキャップ回収報告 (最終版)

1位 101 1,491個	2位 201 1,438個	3位 203 1,050個
------------------	------------------	------------------

【家庭クラブ委員が集計しました】



2学期から回収を始め、ルールを守って回収されたキャップ数の集計結果です。総数は**9,674個**で、結核のワクチンであるBCGだと67回分になります。総数のうち、82.2%はきれいに洗うなどのルールが守られていました。御協力ありがとうございました。ペットボトルキャップに限らず、ゴミの分別やゴミを減らそうという意識、自分のちょっとした行動が世界の誰かを救うことになるという意識を持つことに繋がってくればと思います。この活動は来年度も継続しようと考えていますので、今後も御協力よろしくお願いします。



② 河原スイーツコンテスト応募

2年フード受講生や1、2年食物検定受検者を中心に案内した「河原スイーツコンテスト 2022」にグループ1組(3名)と個人2名が計4作品を応募しました。「バレンタインのスイーツを作ろう!」をテーマに、チョコレート使用に限らないオリジナルお菓子を作りました。飴細工でバラをイメージさせたり、封筒の形で気持ちを伝えるイメージ、苺の赤色や甘酸っぱさで恋心をイメージさせるなど、どの作品もテーマに沿った工夫がありました。

皆さんも家庭科の分野に限らず、コンテストに挑戦してみませんか。家庭科関連はこの家庭クラブ通信などを通して今後も情報提供をします。

〈高校生がコンテストに挑戦する3つのメリット〉

① 自分の能力に自信がつく

コンテストは学力以外にも様々な能力を競える場です。趣味や特技を生かして参加できるコンテストは自分への自信に繋がります。

② 将来に繋がる特典がある

ほとんどのコンテストでは受賞すると賞品がもらえます。賞金や記念品などコンテストによって異なりますが、高校生の夢を応援するような特典が付くものもあります。受賞しなくても高校生活の中で自主的に取り組んだこととしてアピールできます。

③ 仲間やライバルに巡り会える

コンテストに参加するのは、全国の高校生です。同世代と競い合うために非常に刺激的で、自分の周りにはいない仲間やライバルを見つけることができます。

③ 卒業生に向けて～水引のコサージュ～

四国中央市の伝統工芸品である水引で作られたコサージュは川高のスクールカラーである「紫」を基調としたものです。家庭クラブはピン付けなどを行い、卒業生の門出に花を添えさせていただきます。



④ 前年度会長 光藤 太陽さんへインタビュー

卒業を3月に控えた前年度家庭クラブ会長の光藤太陽さんに家庭クラブ活動の思い出を尋ねました。

私は前年度家庭クラブ会長として様々な活動に取り組んできました。コロナにより交流活動などが制限されてしまいましたが、その中でも自分たちにできることはないかと考え、フラワーバンクやシトラスリボンプロジェクトを実施しました。フラワーバンクでは、市から借りた「百日草、ミニひまわり、けいとう」を種から育て、無事花を咲かせ、種を収穫できました。シトラスリボンには、コロナ感染者及び医療従事者への偏見や差別防止といった意味が含まれ、水引で作ったシトラスリボンキーホルダーにして販売し、売上を募金しました。家庭クラブでは学校生活や地域社会が良くなるような活動をしているので、皆さんも自分にできることから家庭クラブ活動に参加してみてもいいと思います。



光藤さん



「フラワーバンク」水やり



料理講習会「里芋モンブラン」

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

3年生で1、2年次に家庭クラブ委員を経験した21人のうち、5人が受験の面接やレポートに家庭クラブ活動をアピールしたいと家庭科まで訪ねてくれました。そんな時、この家庭クラブ通信で活動を振り返り、参考にしてもらいました。「家庭クラブ委員でよかった」、「料理講習会が栄養士を目指すきっかけになった」などと言ってくれて、うれしく思いました。また、後輩たちに引き継がれた家庭クラブ活動を気に掛けてくれる人もいました。家庭クラブ活動で得たことは今後の役に立つことでしょう。今年度はこれで最終号です。1、2年生の皆さん、来年度もよろしくお願いします!